

# 町民のみなさんの命を救う 高規格救急自動車に寄贈配備

国民の大切な生命を守るため

の高規格救急自動車、全国共済農業協同組合連合会北海道本部から北後志消防組合積丹支署に寄贈され、10月26日、同支署で受納式が行われ、山田新おたる農業協同組合長が、北後志消防組合管理者上野盛余市町長へ記念キー（鍵の模型）と目録を手渡しました。

同本部では1975年から交通事故対策事業の一環で全道各地の消防署へ救急自動車の寄贈活動を続けており、今年度は全道の6消防署に贈呈し、このうちの1台が積丹支署に贈られま

した。

寄贈された救急自動車は、四輪駆動式の最新型車両です。町では、寄贈車に約1,470万円の予算を追加して除細動器や患者監視装置など、高度救命に必要な最新の資機材を装備しました。また、従来の救急車よりも大きく室内空間も広いため、より円滑な高度救命活動ができるようになり、町民のみなさんの生命と安全を守るため大きな役割を果たすものと期待されます。



祝救急自動車受納式  
贈 全国共済農業協同組合連合会北海道本部



## 高規格救急自動車とは

救急救命士が乗務し、高度救急救命処置が出来る装備を積載した救急自動車です。

# 灯台守と地域住民のつながりの歴史を紹介 神威岬灯台に案内板を設置

第一管区海上保安本部と小樽海上保安部は、明治21年の神威岬灯台の開設の歴史や灯台職員

の長い使命感や労苦の足跡と、その生活を支えた地元漁村集落の人々との心暖まる交流の歴史を広く国民に紹介する目的で、同灯台に新たな啓発案内板を9月11日に設置しました。

今年、これまでにこのような神威岬を全国的に紹介する新聞報道や定期刊行の機関誌、テ

レビ放映など例年になく多くのPRの機会に恵まれ、同岬を訪れる多くの観光客の好評を得ています。



# 入舸小学校児童4人が 1,255m積丹岳登山に挑戦!

入舸小学校の4年生から6年生児童の4人、引率者3名と学校支援ボランティアとして積丹山岳愛好会の橋場政男会長と共に9月18日、積丹岳登山に挑戦しました。参加した児童全員は積丹岳登山が初めて。橋場会長は登山の楽しみを感じられるように休憩を取りながら児童達のペースを乱さないように頂上を目指し、森の中に笑い声を響かせながら登山を楽しむことができました。

積丹岳登山から望む景色の素晴らしさだけでなく、森



の中を歩くことで、自然界の様子に触れ、くじけずに登りきった経験は、しっかりと子どもたちの心と体に刻み込まれた思い出に残る一日になりました。

## 後志の味覚が大集合

管内の特産品を一同に集めた「後志収穫祭」（後志ツーリズムサポート（倶知安町）主催）が9月22～23日ウイングベイ小樽で開催され、当町からは積丹観光協会が参加。連休後半の大変賑わう中、ウニ飯弁当や珍味類の販売に、買い求める客が次々と訪れていました。



## “特製ウニ飯弁当”好評!!

例年、札幌大通公園で開催される札幌オータムフェスト（当実行委員会主催）に今回も連休前半の9月18～20日参加しました。夏の陽気を思わせる中、観光協会と町職員が新メニューを含む積丹の味覚5品を販売。煮アワビを乗せたウニの炊き込みご飯「特製ウニ飯弁当」は好評で、買い求める観光客など時折長い列ができました。



# 積丹の味覚をPR!



■笑顔奪わないで!!  
小原百花さん(入舸小6年)が最優秀に  
交通安全ポスターコンクール

ポスターの作成を通じて交通安全の重要性について児童・生徒の理解を深め、交通事故防止を図ろうと後志支庁地区交通安全推進協議会が募集した「平成21年度後志支庁地区交通安全ポスターコンクール」に、小学生の部で小原百花さん(入舸小6年)が36点の中から最優秀に選ばれました。

『夏の島武意海岸にはスピードを出す車が多く、幸せの笑顔が一瞬で失うことがないようにと願いを込めて描きました。』 (小原百花)



余別  
新しいお巡りさんをご紹介します



近藤 悟 巡査部長

平成21年10月1日付で、余別駐在所に近藤悟(こんどうさとし) 巡査部長(35歳)が着任されました。

苫小牧警察署糸井交番が前住地の近藤部長は、奥さんの礼子さんと2人で赴任され、来年の二月

頃には第一子が誕生する予定です。

出身は札幌市。これまでの勤務地は苫小牧、函館、千歳、恵庭のいずれも都市部の交番などで、今回はかねてから希望していた駐在所勤務となりました。

「日本の原風景のような美しい海と山に囲まれた駐在所で勤務できることを誇りに思います。事件や事故から町を守るサポーターとして精一杯励みます。困りごとがあれば駐在所に気軽に立ち寄って声をかけてください。」と抱負を語ってくれました。

積丹町議会議員選挙における候補者の選挙運動に関する収支報告

平成21年9月13日執行の積丹町議会議員選挙における候補者の出納責任者から提出のあった、選挙運動に関する収支報告書の要旨は、次のとおりです。

積丹町選挙管理委員会 委員長 磯野久治

■選挙運動費用支出制限額 1,196,700円

届出番号	候補者氏名	収入の部(円)			支出の部(円)							
		寄付	その他の収入	計	人件費	交通費	印刷費	広告費	食糧費	休泊費	雑費	計
1	澤田 義春	30,000	207,800	237,800	50,000			187,800				237,800
2	田村 雄一		121,361	121,361	70,000				48,117		3,244	121,361
3	佐藤 晃	20,000	229,426	249,426	10,000		130,975	88,750	18,742		959	249,426
4	石岡 誠晃	70,000	409,464	479,464	60,000		210,000	160,000	42,198		7,266	479,464
5	山本 俊三	35,000	398,060	433,060	115,000		113,400	118,718	67,780		18,162	433,060
6	佐藤 盛男	70,000	109,410	179,410			109,200	70,000			210	179,410
7	葛西 敏夫		42,450	42,450			42,000				450	42,450
8	岩本 幹兒	10,000	249,610	259,610	10,000		104,160	145,000			450	259,610
9	成田 静宏	50,000	83,735	133,735	40,000		55,913	22,600	3,579		11,643	133,735
10	海田 一時	15,000	258,255	273,255	50,000		58,905	135,000	13,050		16,300	273,255

※選挙運動に関する収支報告書は、公職選挙法第192条第1項の規定に基づき公表が義務づけられています。